八大島 水産だより

4月号 2013





今年の八丈島の冬は、例年よりも気温が低い日が続きました。それでも3月の上旬から暖かい日が続いたので、フリージアまつりの会場は、色とりどりの花が咲き、訪れた方々を大歓迎していました。

一方、八丈島を代表するカツオ漁は、相変わらず不安定な漁模様となっています。はやく漁師さんたちの笑顔があふれる港になることを願っています。

さいきん りょうもよう

■ 最近の漁模様は?



今年もカツオ漁は、安定していません。そこそこのつてくる日もあれば、よくない日もあります。船によっても様々で、みんなが大漁の時はほとんどありません。あまりにもカツオが釣れないので、漁師さんたちのなかには、かわりにキンメダイを狙って漁に出ている人もいます。トビウオと並んで大道の春を告げるカツオが大漁になると、島の港はおおいに活気づきます。

トビウオ漁とキンメダイ漁は安定していますが、 多くの漁師さんが行うカツオ漁の大漁を期待しているところです。

ゕいゅうぎょ かいさいちゅう 海遊魚まつり開催中!

底土地区にある漁師小屋では、島を訪れるお客さんに無料で島の味を楽しんでいただく「海遊魚までいるが行われています。八丈町から頼まれた漁協女性部の人でおけるが、新鮮なお刺身や手作りのムロアジメンチカッ、トビウオのすり身場げ、島の焼酎などでお客といたうえで「魚さばき体験」も行っています。ごかり、もしれませんよ。4月の土・日・祝日の午後2時から4時まで、好評開催中!

